

「山形市中心市街地グランドデザイン」(案) に対する パブリック・コメントの実施結果について

「山形市中心市街地グランドデザイン」(案) に対し、貴重なご意見をお寄せいただきまして、誠にありがとうございました。

いただきましたご意見に対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

なお、お寄せいただきましたご意見につきましては、その趣旨を損なわない程度に取りまとめ、要約しておりますことをご了承ください。

【実施概要と結果】

- ◆ 実施案件名 「山形市中心市街地グランドデザイン」(案)
- ◆ 実施期間 平成 30 年 11 月 19 日 (月) から平成 30 年 12 月 10 日 (月)
- ◆ 実施結果

提出方法	人・団体	件数
ホームページ	4 人・1 団体	56 件
ファックス	0 人	0 件
持 参	1 人	3 件
合 計	5 人・1 団体	59 件

- ◆ グランドデザイン (案) の項目ごとに対する意見 36 件
- ◆ グランドデザイン (案) 全体に対する意見 23 件

【ご意見に対する市の考え方とその対応状況】

① グランドデザイン (案) を修正するもの	7 件
② グランドデザイン (案) のとおりとするもの	52 件
合 計	59 件

山形市役所 商工観光部 山形ブランド推進課
街なか・商業グループ
TEL : 023-641-1212 (内線 409)

【計画変更箇所について】

◎ グランドデザイン（案）項目ごとに対する意見

No	計画該当項目	修正前	修正案
1	序章 1. グランドデザインの目的	【表題】 「1. グランドデザインの目的」	【表題】 「1. グランドデザイン策定の背景と目的」に修正。
2		【文章】 「現代のニーズに合った新しい山形市中心市街地を創造する」	【文章】 「時代のニーズに合った新しい山形市中心市街地を創造する」に修正。
3	第1章 中心市街地の現状と課題 1. 中心市街地の現状	「(1) 人口の推移」の「【図2】中心市街地居住人口の推移」において、世代構成の推移も付記していただきたい。	「1. 中心市街地の現状」に中心市街地における「年齢別人口割合の推移」の図を追加。
4	第1章 中心市街地の現状と課題 2. 市民アンケート調査結果	現状の来訪者数に対する評価（多いのか、少ないのか）や、来訪者数の目標数値を明記すべきではないか。	来街状況や回遊動向を把握するものとして、「山形市中心市街地活性化基本計画」の中で、「歩行者・自転車通行量」を目標指標の1つに設定し、当数値で把握をしていることから、「1. 中心市街地の現状」に「歩行者・自転車通行量」のグラフを追加。
5	第1章 中心市街地の現状と課題 3. 課題	【文章】 （2）まちづくり手法の見直し これまでの空き店舗対策やイベントの開催、情報発信だけに留まらず、まちづくりや地域経営を積極的に行う「エリアマネジメント方針」の考え方の導入や、ゾーニング計画に基づく最適な業種業態の組み合わせの誘導を行う「テナントミックス事業」などによる戦略的な事業展開を行っていく必要があります。	【文章】 （2）まちづくり手法の見直し これまでの空き店舗対策やイベントの開催、情報発信だけに留まらず、まちづくりや地域経営を積極的に行う「エリアマネジメント方針」の考え方の導入による戦略的な事業展開を行っていく必要があります。 <u>また、中心市街地における消費額は低調な傾向にあることに加え、中心市街地に対するニーズは、飲食店、カフェ、緑や公園、娯楽施設、休憩用のベンチ等、「時間消費」への移行がうかがえるため、ゾーニング計画に基づく最適な業種業態の組み合わせの誘導を行う「テナントミックス事業」などによる空間整備が必要となってきました。</u> <u>更には、中心市街地の空き地の土地利用の多くは、駐車場として利用されており、最適な土地利用がなされているとは言えない状況のため、土地の効率的な利用を検討していく必要があります。</u>
6	第2章 グランドデザインの概要	「観光客の微増傾向が伺える」とあるが、程度がわからないため、グラフを添付いただきたい。	「1. 中心市街地の現状」に「山形市観光客入込数」の項目を新たに設け、グラフを追加。
7	2. テーマと目指すべき方向性	「カタカナ語の用語集」を作成していただきたい。	「用語集」を作成し、グランドデザインとは別個の「参考資料」として添付。

【ご意見に対する市の考え方と対応について】

◎ グランドデザイン（案）項目ごとに対する意見

No	計画該当項目	ご意見の要旨	市の考え方	計画反映
1	序章 1. グランドデザインの目的	記載の内容が、目的以外の内容も混在しているため、もっと端的に明示すべきではないか。	山形市では、中心市街地活性化を図るため、平成20年度より「中心市街地活性化基本計画」を策定し、5年から6年間の短期的な目標を掲げながら様々な事業を展開してきましたが、依然として郊外への商業集積やインターネット通販の台頭などが進行しており、中心市街地の課題が山積しています。その課題等に対応するため、今後のグランドデザインのあり方を示し、中心市街地の価値の向上を図っていくというのが、この度グランドデザインを策定するに至った背景となります。 よって、策定までの背景も盛り込むことにより、グランドデザインの必要性が伝わりやすくなると考え、表題を「1. グランドデザイン策定の背景と目的」に修正し、内容については計画（案）のとおりとします。	計画（案）を修正します。 <u>表題を「1. グランドデザイン策定の背景と目的」に修正</u>
2		「現代のニーズに合った新しい山形市中心市街地を創造する」という表現を、「未来のニーズに合った」とすべきではないか。	世の中のニーズに合った中心市街地を創造していくことを目指していくため、「時代のニーズに合った」と修正します。	計画（案）を修正します。 <u>文章を「時代のニーズに合った」と修正</u>
3		記載の内容に、中心市街地の価値の向上によって「市民全体」へ恩恵をもたらす方向性を明記すべきではないか。	中心市街地の価値の向上を図ることにより、民間・行政に関わりなく、中心市街地に新たな投資や人の流入を促し、時代のニーズに合った新しい中心市街地を創造することで、健康医療先進都市の実現、定住人口・交流人口の拡大を目指していく方向性を記載させていただきます。	計画（案）の通りとします。

4	序章 2. グランドデザインの策定エリア	エリアについて、線を用いて明示していただきたい。	グランドデザインの策定エリアは、「山形市中心市街地活性化基本計画」で定める「中心市街地エリア」を基準とし、山形駅西口エリアや寺町エリア等の中心市街地周辺でも事業効果の見込めるエリアを含む形で設定しています。グランドデザインでは、道路等で明確にエリアの境界を設定せず、実施する事業ごとに対象となるエリアの範囲を設定していきたいと考えております。	計画（案）の通りとします。
5		エリア内に記載されている施設について、建物名称、住所、施設の類型、施設の概要、管理者等を入れていただきたい。 また、老舗は「男山酒造」しか記載がないため、全て盛り込んでも良いのではないかと。	エリア図に記載されている施設は、地図上の位置関係をわかりやすく補助する目的で記載しており、見やすさ等の観点からも、多くの情報を記載しない方が良く考えております。 また、「男山酒造」は老舗店舗としての記載ではなく、ゾーニング計画の中で、旧羽州街道を示す際の位置情報として記載している店舗となります。	計画（案）の通りとします。
6		「山形市中心市街地活性化計画（シェイプアップ・マイタウン）」に記載されている、霞城公園と専称寺を結ぶ、歴史遺産と堰を活用した水の演出を謳った「複合十字軸」を、対象エリアに包括すべきではないかと。	本グランドデザインにおいても、同様の事業を検討していくエリアとして、「戦略的景観構築ブロック（御殿堰修復エリア）」を設定しております。	計画（案）の通りとします。
7	第1章 中心市街地の現状と課題 1. 中心市街地の現状	「(1) 人口の推移」の「【図2】中心市街地居住人口の推移」において、世代構成の推移も付記していただきたい。	中心市街地における「年齢別推計人口の推移」の図を作成し、追加しました。	計画（案）を修正します。 <u>図を追加</u>
8		「(2) 地価の現状」の「【図3】中心市街地の地価推移」において、地価推移の平均値のグラフもあった方が良くはないかと。 また、平成元年からの状況もあった方が良くはないかと。	中心市街地において、近年、連続して地価公示の調査地点となっている場所が、グランドデザインに記載している5地点のみであるため、平均値のグラフを追加する効果が薄いと考えられることから、記載をしております。 また、今回お示ししているグラフは、過去10年の地価の状況を端的に示したものであり、平成26年以降緩やかな上昇傾向にあることを示すために、掲載しているものであります。	計画（案）の通りとします。

9		<p>「(4) 商業環境の変化」の「ウ 商業健全度」において、健全度の高い都市と低い都市の要因分析を記載してはどうか。</p>	<p>各都市の実情に応じて、「商業健全度」は異なるため、各都市との比較より本市の「商業健全度」が低下していることが課題であると認識しております。 よって、各都市の数値は参考までに記載しております。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
10	<p>第1章 中心市街地の現状と課題 2. 市民アンケート調査結果</p>	<p>単純集計だけではなく、クロス集計等の結果も必要ではないか。</p>	<p>今回の「市民アンケート調査」は、グランドデザイン策定に向けた、中心市街地の現状を把握するための調査であったため、回答からすぐに読み解ける内容の質問項目としております。 今後、グランドデザインの具現化に向け推進していく具体的な事業（戦略プロジェクト）等を検討していく際には、クロス集計等のより深掘りした調査結果を基に検討していく必要があるため、そのような手法を用いて分析を行っていきたいと考えております。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
11		<p>アンケート調査結果から見える「中心市街地における山形の良さ」は何かという分析が必要ではないか。</p>	<p>今回の「市民アンケート調査」における質問項目が、純粋に中心市街地の現状を把握するための質問となっており、結果だけを見ると、良さの部分を引き出せる結果ではありませんでした。 今後は、いただいたご意見の分析ができるような質問項目を加えて「市民アンケート調査」を実施し、分析を行っていきたいと考えております。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
12		<p>現状の来訪者数に対する評価（多いのか、少ないのか）や、来訪者数の目標数値を明記すべきではないか。</p>	<p>山形市においては、来街状況や回遊動向を把握するものとして、「山形市中心市街地活性化基本計画」の中で、「歩行者・自転車通行量」を目標指標の1つに設定し、中心市街地の12地点の数値において把握をしております。 よって、「歩行者・自転車通行量」のグラフを追加しました。 なお、「歩行者・自転車通行量」は、調査日の天候の変化により数値が左右される傾向にありますが、近年は、微減の状況で推移しております。 また、本グランドデザインは、中心市街地の将来的なビジョンとなる、新たなまちづくりの方向性を示すものであり、具体的な目標数値の設定は行っておりません。</p>	<p>計画（案）を修正します。 「1. 中心市街地の現状」に「歩行者・自転車通行量」のグラフを追加</p>

13		「③卒業後の就職先・居住とまちづくり」において、「卒業後の市内就職要望率」が16%という結果だが、この課題に対して、具体的にどのような対策をしていくのか。	中心市街地の活性化を図るため、まちづくりにおける様々な機能を強化することにより、その効果が中心市街地周辺から市内全体へ波及していくことで、山形市全体の魅力向上を図り、山形市内への就職を要望する学生を増やしていければと考えております。	計画（案）の通りとします。
14		「オ 総評」において、今後必要な機能、取り組みを4つ記載しているが、この4つに集約されるといふ分析結果で良いのか。	アンケート調査は、一般市民、来街者、大学生と異なる対象者で調査しておりますが、キーポイントとなる事象をまとめていくと、記載の4つの項目になると考えています。	計画（案）の通りとします。
15	第1章 中心市街地の現状と課題 3. 課題	「オ 総評」と「3. 課題」において、記載されている内容に隔たりがあり、必然性が認められないため、再度考察すべきではないか。	「3. 課題」については、「市民アンケート調査」結果のみから導き出されているものではなく、第1章に記載の「中心市街地の現状」全体から導き出しているものになります。 記載の内容では説明不足の部分もあるため、より現状を反映した記載に修正いたします。	計画（案）を修正いたします。 より現状を反映した記載に修正
16		「商業・居住、観光、ビジネス環境、医療・福祉・子育て、芸術・文化」という分野が記載されているが、優先順位の記載が必要ではないか。	中心市街地の活性化を図るためには、商業振興に加え、居住、観光、ビジネス環境、医療・福祉・子育て、文化芸術活動など、多くのテーマを設定し、それぞれの魅力を高めることで、最終的に中心市街地エリアとしての価値を高めることが重要だと考えており、優先順位は特段設けないこととなります。	計画（案）の通りとします。
17	第2章 グランドデザイン の概要 2. テーマと目指すべき方向性	「テーマ1 商業の魅力の向上」において、「テナントミックス事業」とあるが、老舗店舗はどのような位置付けとなるか。	「テナントミックス事業」では、出店する店舗の誘導等を図ることによって、そのエリアにおける最適な業種業態の組み合わせを展開していきます。 老舗店舗においては、エリア内の中核店舗として、引き続きエリアの牽引役を担っていただくとともに、その他の店舗との相乗効果によって、エリア全体が活性化できるよう、業種業態の組み合わせを検討していく必要があると考えております。	計画（案）の通りとします。

18	若者・高齢者が回遊を楽しみ集まる場所について、どのようなイメージなのか、図で示していただけるか。	<p>「市民アンケート調査結果」を見ても、市民ニーズは飲食店、カフェ、緑や公園、娯楽施設、休憩用のベンチ等、「時間消費」を象徴するものになっています。この消費傾向に対応していくためには、業種業態の改善に加え、滞在する場としての空間整備が必要となってきます。</p> <p>また、高齢者の方が車に過度に依存せず、生活上の用事を徒歩や補助的な公共交通で足りる範囲で楽しむというライフスタイルの利点も見直されています。</p> <p>イメージを図で示すことは困難な状況ではありますが、「商業の魅力の向上」や「居住・都市機能の強化」を図ることで、新しい中心市街地を創造していきます。</p>	計画（案）の通りとします。
19	世代を超えて人が集まるような店舗（大沼）の今後について、どのようになるか記載いただきたい。	本グランドデザインは、中心市街地の将来的なビジョンとなる、新たなまちづくりの方向性を示すものであり、現在営業中の個別店舗に関しては、山形市の立場で具体的な方針を記載することは難しいと考えております。	計画（案）の通りとします。
20	若者を中心としたリノベーション事業は、今後発展させる取り組みだと考える。 しかし、重要と思われる情報発信については、内容の補強が必要だと思うがいかがか。	事業者との意見交換等を行いながら、中心市街地の情報発信アプリ・サイト「はい！やまがたでした！」において、リノベーションにより整備された店舗のコンセプト等を取り入れるなど、内容を充実し、情報発信を行ってまいります。	計画（案）の通りとします。
21	「オーバーストア」の状態に対する有効な手立てを示していただきたい。	平成30年6月に本町において「やまがた街なか出店サポートセンター」を設置しました。今後は、本グランドデザインで示す方向性を実現するために、より主体的・積極的に動ける推進体制として「（仮称）山形市中心市街地活性化戦略推進協議会」を整備し、当センターの管理・運営を行っていくとともに、商店街毎の店舗構成最適化を図ることによって、街の魅力向上を目指していきます。また、その他の具体的な事業（戦略プロジェクト）についても、今後、市の事業担当課及び事業関係者等と連携を図りながら検討してまいります。	計画（案）の通りとします。

22		<p>栄町大通りの拡幅工事について、イメージがわからないため、概要を添付していただきたい。</p>	<p>本拡幅工事の内容としましては、一方通行である現況の車道を4車線の対面通行とするため、拡幅工事を行うものです。</p> <p>その他にも、電線の地中化による無電柱化や、歩道部の無散水消雪化、景観に配慮した空間整備を進めていく予定となっています。</p> <p>本拡幅工事の区間は、山形県の施行区間となっておりますので、詳細については山形県のホームページにあります「旅籠町八日町線道路改良工事の概要」をご覧ください。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
23		<p>「観光客の微増傾向が伺える」とあるが、程度がわからないため、グラフを添付いただきたい。</p>	<p>「1. 中心市街地の現状」に「山形市観光客入込数」の項目を新たに設け、グラフも追加しました。</p>	<p>計画（案）を修正します。</p> <p>「1. 中心市街地の現状」に「山形市観光客入込数」の項目を新たに設け、グラフを追加</p>
24		<p>「カタカナ語の用語集」を作成していただきたい。</p>	<p>「用語集」を作成し、グランドデザインとは別個の「参考資料」として添付することとしました。</p>	<p>計画（案）を修正します。</p> <p>「参考資料」として添付</p>
25		<p>「大規模観光案内所の設置」とあるが、既に霞城セントラルにもある観光案内所との区別はどのようにするのか。</p>	<p>新観光案内所につきましては、国内外からの旅行者への観光案内に加え、花笠まつりや自然体験など各種アクティビティの受付、手荷物を預かり宿泊地へ届けることで手ぶらで観光ができるサービスなど、多様な機能が必要であると考えられます。</p> <p>駅西の霞城セントラルにある県観光案内センターにはない機能を持った観光案内所として、山形市の街なか観光や中心市街地活性化に寄与するよう検討しております。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
26		<p>最上義光は、職人町や工業団地（銅町や鍛冶町等）を計画的に配置した。</p> <p>山形市は昔ながらの町屋も残っており、クラフトの街として、地場産業の振興を図る区域を検討すべきではないか。</p>	<p>本市には、伝統工芸等の地場産業が数多く残っていますが、中心市街地内においては、その担い手が減ってきている状況にあります。</p> <p>そのため、ある一定のエリアに集約化を図ることが困難な状況にあることから、現段階では本グランドデザインで新たな区域を設定することは考えておりません。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>

27		<p>栄町大通り拡幅工事完成後の七日町周辺の将来構想こそ、ランドデザインの肝要の1つであり、先験的な考えを示す必要があると思うがどうか。</p> <p>また、居住環境の改善や、緑量の向上について、現実性や具体性に乏しいと感じる。都市公園や緑道等の公共空間を計画的に配置する構想を検討し、条例で指定することが必要と思うがどうか。</p>	<p>ランドデザインの具現化に向け推進していく具体的な事業（戦略プロジェクト）については、今後、市の事業担当課及び事業関係者等と連携を図りながら検討してまいります。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
28		<p>歴史遺産の存在を全て洗い出し、エコツーリズムの手法で「掘り起こし」、「磨きたて」、「誇りに思い」、「活用し、新しい価値を作り」という形で取り組まなければならないと思うがどうか。</p>		
29		<p>「寺町から霞城公園までの御殿堰沿いの環境整備」について、イメージがわからないため概要を添付していただきたい。</p>		
30		<p>御殿堰の整備については、用途地域の指定や都市公園の緑道としての計画決定、その他条例の整備などを即急に進めるべきと考えるがいかがか。</p>		
31		<p>「CCRC」は「山形市高齢者保健福祉計画」に記載がないが、どのように政策を展開していくのか。</p>		
32		<p>文化・芸術に市民が身近に触れられる機会を増やす努力が必要だと思うため、行政としての関わり方を明確にしてはどうか。</p>		
33	<p>第2章 ランドデザインの概要 3. ゾーニング計画</p>	<p>ゾーンに含まれる町名等も記載していただきたい。</p>	<p>このゾーニングは、街の状況の変化に応じて修正を行うこともあり、各ゾーンで示している範囲は、あくまで目安であるため、町名等を明記することはできません。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>

34	<p>第3章 中心市街地の活性化を実現していくための戦略について</p> <p>2. 中心市街地において大きな影響がある大規模の公共的な土地利用について</p>	<p>リストアップされている施設は、老朽化しているものが多く、安全性を高める必要がある一方で、少子化の到来により、公共施設等に係る投資的経費の確保はさらに困難な状況となっていく。</p> <p>この異なった2つの要素を両立させるためには、今回の策定エリアにおいても、山形市における公共施設「総量」の概念を適応し、保有量の限界も算出できるのではないかと思うが、どう考えているか。</p>	<p>市内の公共施設は、国、県、市の各行政機関がそれぞれの「公共施設等総合管理計画」等に基づいて維持管理等を行っております。</p> <p>そこで、現在の「総量」と今後の見通しについて整理されております。</p> <p>市における必要な施設については、「時代のニーズや予算等に応じて最適な方向性を判断するため、「総量」の概念については定めておりません。</p> <p>今後の中心市街地における公共施設や公共的な土地利用の方向性については、関係機関と連携を図りながら検討してまいります。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
35	<p>第4章 まちづくりを推進していく体制について</p> <p>1. 実施体制及び所掌事項</p>	<p>山形市中心市街地活性化戦略本部、山形市中心市街地活性化プロジェクト本部の構成員に、一般市民も入れるべきではないか。</p>	<p>中心市街地の活性化に関しては、「山形市中心市街地活性化戦略本部」、「山形市中心市街地活性化プロジェクト本部」、「山形市中心市街地活性化協議会」の相互連携により取り組んできましたが、ランドデザインを具現化していくための推進体制として、新たなまちづくり組織「(仮称) 山形市中心市街地活性化戦略推進協議会」を設立し、山形市中心市街地活性化戦略本部及び山形市中心市街地活性化プロジェクト本部との連携により事業を推進していきます。</p> <p>また、検討すべき事業ごとに、事業関係者をメンバーとする検討会等を随時立ち上げ、事業の具現化に向けて協議を行っていく予定です。</p> <p>今後実施する「市民アンケート調査」において、一般市民の声も反映させるようにしたいと考えております。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
36		<p>山形市中心市街地活性化戦略本部の構成員に、JR・バス・タクシー事業者、県警の交通部門、都市交通学者も含めるべきではないか。</p>	<p>ランドデザインを具現化するための戦略プロジェクトを検討する際は、検討すべき事業ごとに、事業関係者をメンバーとする検討会等を随時立ち上げ、事業の具現化に向けて協議を行ってまいります。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>

◎ グランドデザイン（案）全体に対する意見

No	ご意見の要旨	市の考え方	計画反映
1	国道 112 号線（ホテルキャッスル角～ナナ・ビーンズ角）の街路部分において、アーケードを設置してはどうか。	今後、商店街や関係者等との意見交換を踏まえながら、必要に応じて事業の検討をしております。	計画（案）の通りとします。
2	本町商店街及び七日町商店街の建物において、全て数階建てとし、3 階以上をマンションやアパートとして供してはどうか。	ゾーニング計画の中では、両商店街エリアを「商業強化・居住推進ゾーン」と設定しております。 建物の 3 階以上の用途を、マンションやアパートのみに規制をかけることは困難と考えますが、今後、商店街や関係者等との意見交換を踏まえながら、必要に応じて事業の検討をしております。	計画（案）の通りとします。
3	周辺に影響力がある駐車場、芸術、スポーツ、公園等の施設に投資をしていくべきではないか。 特に駐車場については、七日町商店街と山形駅前大通り商店街の間に地下駐車場を整備し、戦略的な価格設定により行政が運営を行うことで、地権者の方々が駐車場経営にメリットを感じなくなるようなことを目指してはどうか。	駐車場については、戦略プロジェクトとして、「駐車場の適正配置による土地の効率的な利用」を挙げており、小規模駐車場の区画再編や再配置により、駐車場の配置適正化を検討し、土地の効率的な利用へと繋げていきたいと考えております。 その他の施設も含め、グランドデザインの具現化に向け推進していく具体的な事業（戦略プロジェクト）については、今後、市の事業担当課及び事業関係者等と連携を図りながら検討しております。	計画（案）の通りとします。
4	山形美術館の敷地内や館内にカフェを整備してはどうか。	ゾーニング計画の中で「山形美術館」は「歴史・文化推進ゾーン」に含まれており、当ゾーンではそれぞれの歴史・文化観光施設を観光客にとって有益なコンテンツとしていく必要があると考えております。 今後、関係者等と連携を図りながら検討しております。	計画（案）の通りとします。
5	介護施設では消費に結びつかないと思うため、健康を増進したいリタイヤ世代が魅力を感じる施設が必要だと思うがどうか。	グランドデザインの中においても、引退したシニア層に対して、居住に加え、医療や福祉などの諸施設や、フィットネスクラブなど健康維持のための民間施設が立地することで、更に街の魅力を高めることができると考えております。 グランドデザインの具現化に向け推進していく具体的な事業（戦略プロジェクト）については、今後、市の事業担当課及び事業関係者等と連携を図りながら検討しております。	計画（案）の通りとします。
6	市民会館でコンサートがある時などは歩行者数が激増するため、市民会館へのテコ入れが必要ではないか。	今後、市の事業担当課及び事業関係者等と連携を図りながら検討しております。	計画（案）の通りとします。

7	山形駅前大通り商店街と七日町商店街の連携に向けた制度作り等が必要ではないか。	今後、「(仮称)山形市中心市街地活性化戦略推進協議会」において、商店街や関係者等との意見交換を踏まえながら検討してまいります。	計画(案)の通りとします。
8	<p>市内交通の現状に対する評価とこれからの施策を具体的に明記すべきではないか。</p> <p>人口密度の高い「人口集中区域(DID)」と中心市街地を結ぶ公共交通には、公金を投じてでも大幅な利便化を図ることで、自動車保有者も公共交通を選択しやすくなると考える(路線バス再編とLRT(次世代型路面電車)の導入など)。</p> <p>「公共交通事業者の採算性」と「市民にとっての利便性」は比例するとは限らないため、事業者が地方都市において、純粋な商業行為として黒字経営を強いられると、結果として利用者の利便性が損なわれることがある。よって、「採算性」と「利便性」を両立させるためには、行政による積極的な関与は最低限必要と考える。</p> <p>さらに、移動の際に自家用車を利用している人の実態を把握するため、市民の交通に対するニーズを調査すべきではないか。</p>	<p>山形市内における公共交通の現状は、中心市街地から郊外部の各方面に、路線バスが放射状に延びているとともに、バス空白地域や不便地域においても、市が運行するコミュニティバスや住民主体によるデマンド型乗合タクシーが運行しているため、比較的、どの地域からも公共交通機関を利用して中心市街地に移動できる環境が整っております。しかしながら、自家用車の普及により、住民はドアツードアのサービスを求めており、それがバス利用者の伸び悩みに影響を及ぼすと共に、公共交通に関するニーズの多様化にもつながっております。こうした状況から、現在、山形市では地域ごとに公共交通に関する勉強会や住民との意見交換などを行い、各地域におけるニーズの把握と、そのニーズに合った交通手段の検討を住民と連携しながら実施しております。今後、各地域のニーズに合ったコミュニティ交通を整備するとともに、各コミュニティ交通と既存の交通手段との接続をスムーズにするためのバス路線の再編などを行いながら中心市街地までの移動手段として公共交通機関を利用する市民等を増やしていきたいと考えております。</p>	計画(案)の通りとします。
9	空き店舗増加の原因や、それに対する具体的な対応策を明記すべきではないか。	<p>空き店舗の増加の原因は、中心市街地での滞在時間が短く、消費額も低調な傾向にあることに加え、街の消費規模に見合った商業売り場面積となっていない「オーバーストア」の状態になっているという状況にあることが推察されます。</p> <p>また、近年の消費傾向が、モノを買う「物販消費」から、その空間に滞在する時間を楽しむ「時間消費」に移行してきていることがうかがえるため、対応策として、テナントミックス事業(最適な業種業態の組み合わせ)の展開により、エリア毎の最適なテナント構成を図ることによって、滞在する魅力、回遊する魅力を増加していくことが必要だと考えております。</p>	計画(案)の通りとします。
10	商店街でECサイトを運営してはどうか。	今後、「(仮称)山形市中心市街地活性化戦略推進協議会」において、商店街や関係者等との意見交換を踏まえながら検討してまいります。	計画(案)の通りとします。

11	<p>中心商店街全体に Free Wi-Fi を設置してはどうか。</p> <p>また、キャッシュレスサービスとして、PayPal や Alipay、wechatpay、PayPay 等の決済システムを導入してはどうか。</p>	<p>キャッシュレスサービスについては、グランドデザインの中で、戦略プロジェクトとして「新たな決済サービスの展開と地域電子マネー・地域ポイントの推進」を挙げております。</p> <p>両事業ともに、手法等については、今後、市の事業担当課及び事業関係者等と連携を図りながら検討してまいります。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
12	<p>中心市街地の空きビル、空きテナントに「べにっこひろば」の改良版を整備してはどうか。</p>	<p>現段階の市の計画では、中心市街地における新たな児童遊戯施設の整備計画はありません。</p> <p>中心市街地においては、平成 29 年 4 月に新たな交流拠点として、七日町商店街振興組合の駐車場である「N-GATE」の 1 階に「子育てランドあ〜べ」が入居しております。また、県民会館隣には「やまぎんこども館」が入居しており、両施設とも、中心市街地の子育て支援施設として整備されております。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
13	<p>「山形まなび館」の建物・敷地全体をアート作品にし、それを周辺地域にも波及させてはどうか。</p>	<p>「山形まなび館」の利活用については、戦略プロジェクトとして「第一小学校旧校舎のリノベーション」を挙げており、整備概要等については、今後、市の事業担当課及び事業関係者等と連携を図りながら検討してまいります。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
14	<p>年代別に人気のあるブランドや趣味、飲食のショップがあれば物販消費が増加するため、市が企業側に営業をかけ、メジャーなショップを誘致してはどうか。</p> <p>また、市でテナントを借上げ、複数の店舗のアンテナショップを整備してはどうか。</p>	<p>現時点では、ご提案のあった個別の事業については検討しておりません。</p> <p>今後の施策を推進する際の参考としてまいります。</p>	<p>計画（案）の通りとします。</p>
15	<p>格安な賃料の超小型店舗を整備し、試着やテストができる程度の在庫で、商品自体は後日自宅に届くというような、店舗型通販複合ショップを整備してはどうか。</p>		
16	<p>市内の公共施設などに「Mobike（モバイク）」を設置してはどうか。</p> <p>また、「Mobike（モバイク）」を利用したツーリングツアーを企画してはどうか。</p>		
17	<p>中心市街地に「遊び場」となる施設や店舗があれば、住む人も遊びに来る人も増えると思うがいかがか。</p>		
18	<p>「WeLive」のようなアメニティが揃った賃貸住宅を整備してはどうか。</p>		

19	中心市街地の空きビルを市が借上げ、地元企業のシェアオフィスにしてはどうか。「WeWork」を整備してはどうか。		
20	年齢を問わない起業家養成所「WeGrow」を整備してはどうか。		
21	東北電力敷地や付近の路面を床発電にしてはどうか。 また、「Mobike (モバイク)」を固定し、自転車発電を行ったり、発電量に応じて電気料金の値引きやバッテリー充電、乾電池の配布を行うイベントを開催してはどうか。 イルミネーションの電力を、自転車発電で賄うイベントを開催してはどうか。		
22	大沼デパートや az 七日町の壁にボルダリングコースを設置してはどうか。		
23	毎週土日は歩行者天国とし、ワークショップやフリーマーケットを開催してはどうか。		